

## 風力発電事業を条例対象事業に追加する場合の規模要件について（案）

千葉県環境影響評価条例の対象事業は、事業規模が大きく環境影響の程度が大きなものとなるおそれがある事業であり、環境影響評価及び事後調査等の結果を事業内容の決定及び事業実施に反映させ、当該事業に係る環境の保全について適正な配慮がなされることを期する、という基本的な考え方に基づき定められている。

風力発電事業を条例対象事業に追加するに当たっては、こうした基本的な考え方を踏まえつつ、風力発電事業の環境に及ぼす影響の程度等を考慮し、規模要件を適切に規定する必要がある。

### 1 規模要件の指標

原子力発電所を除く法対象事業及び条例対象事業となっている発電事業については、発電所の種別ごとの環境影響を勘案し、規模要件の指標として総出力が設定されている。

条例対象事業に風力発電事業を追加するに当たっては、制度の整合性の観点から、発電所の総出力を指標とすることとしたい。

### 2 規模要件の水準

千葉県環境影響評価条例の対象事業は、事業規模が大きく環境影響の程度が大きなものとなるおそれがある事業であり、その事業種及び規模が定められている。

法対象事業のうち、風力発電事業については、環境影響の程度が著しいものとなるおそれのある第1種事業の規模が1万kW以上、これに準ずるものとして第2種事業の規模が7,500kW以上とされている。

風力発電事業を条例対象事業に追加するに当たり、規模要件の水準は、環境影響の程度が大きなものとなるおそれのある法の第2種事業の規模が適当であると考えられる。

なお、県内の既設の風力発電所について、騒音苦情やバードストライクの発生状況などに関し、関係市町村へのヒアリング調査を行った結果、現状では環境保全上の大きな支障は認められていない。

### 3 区域別の規模要件の設定

本県では、優れた自然の風景地として、2つの国定公園と8つの県立自然公園がある。

自然公園内に風力発電所を設置することは、自然景観への影響が大きいことから、本県では、自然公園区域内には設置しないよう指導しているところであり、これまで自然公園内への風力発電所の設置事例はない。

このため、自然公園内への風力発電所の設置を前提とした要件を定めることには課題があることから、当面は区域別の規模要件は設定しないこととしたい。

なお、国定公園については、陸域から沖合1kmまでの海域も公園区域に指定されている。

# 自然ちば 公園MAP

## 自然公園とは・・・

すぐれた自然の風景地を後世の人へ引き継いでいくために、その地域の自然を保護し、併せて利用の増進を図るため、自然公園制度が設けられています。自然公園は国民の休養・保健の場であるとともに、自然を通して色々なことが学べる場にもなっています。

### 【自然公園の種類】

- 国立公園：数多いすぐれた自然の風景地の中でも特にすぐれた自然の風景地を指定
- 国立公園：国立公園に準ずるすぐれた自然の風景地を指定
- 都道府県立自然公園：身近な自然休養地を提供することを目的とし、都道府県内のすぐれた自然の風景地を指定

### 県立印旛手賀自然公園

利根川流域近くに位置し、印旛沼および手賀沼を主体としています。その景観は、広々とした水面、それに連なる田園が主となり、さらに周囲台地の斜面林から構成され、レクリエーション地区として古くから知られた地域です。水鳥などの野鳥にとって重要な生息地となっています。



1 手賀沼の夕景

### 県立笠森鶴舞自然公園

本県のほぼ中央部にあたり、房総丘陵と両総台地の接点にある丘陵地からなっています。国の重要文化財の指定を受けている笠森観音堂（板東三十三観音礼所の第三十一番礼所）を中心に、周囲の笠森自然林をはじめ権現森や昔から桜の名所として知られている鶴舞公園があり、自然景観とともに人文景観も豊富です。



2 笠森観音堂

### 県立高岩山自然公園

富津市と君津市の市境に位置し、南房総国立公園の鹿野山地区を取り囲む地域とこの南側にある高岩山を中心とする地域の2つで構成されています。高岩山周辺地区には、優れた自然が残されており、動植物が豊富です。とくに、当地区の一部はニホンザルの生息地（11km<sup>2</sup>）として国の天然記念物に指定されています。



3 高岩山

### 県立富山自然公園

岩井海岸よりやや内陸に入ったところに位置し、おだやかな曲線の富山（標高349.5m）を含む地域と急峻な富山の伊予ヶ岳（標高335.6m）を含む2つの地域からなっています。山頂から東京湾口をはじめ内海海岸線を見ることができ、ハイキングに適している。富山は「南総里見八犬伝」の舞台としても有名で、「伏魔殿」が残されています。



4 伊予ヶ岳 撮影：山口 照夫氏

### 南房総国立公園

房総半島の南部に位置し、その区域は、東京湾内へ突き出る富津岬より、南端の野島崎を経て太東崎に至る約190kmの海岸部を主体とし、これに内陸部の鹿野山、清澄山の地域を併せたものです。その景観は東京湾岸の穏和で繊細な内海風景、太平洋岸の豪快で荒削りな外洋風景からなる海岸風景と鹿野山、清澄山の丘陵性山地景観からなっています。



5 野島崎灯台



6 栗又の滝

### 県立養老溪谷奥清澄自然公園

養老川の上流地域と南房総国立公園の清澄山に接する清澄山地と飛び地の大福山からなる地域です。養老川は、美しい渓谷が見られ、養老溪谷から清澄山地にかけては、国有林と東京大学演習林が大部分を占め、原生的自然が残されています。

凡例

- 国立公園
- 県立自然公園
- 関東ふれあいの道（首都圏自然歩道）
- JR
- 私鉄など



### 県立大利根自然公園

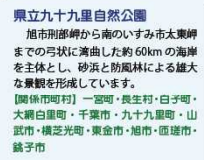
利根川の河川敷を中心とした平坦地および標高30mの丘陵地域の2つで構成されています。ヨシやオアシにおおわれた河川敷とその周辺に広がる田園風景、島状に残された神崎神社の森などが主な景観です。神崎神社の大クス、極相林は県内でも貴重な樹木となっており、共に天然記念物に指定されています。



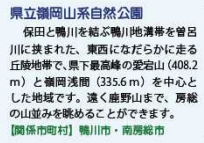
10 神崎神社の森



9 屏風ヶ浦



8 九十九里浜



7 嶺岡山系からの展望



9 九十九里浜